

別記

希望が丘こども医療福祉センターの受診者・利用者（保護者）の皆さまへ

当センターは、下記の臨床研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性がある方で、個人の診療情報・利用情報等を研究目的に利用または提供されることを望まない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究の名称	当センターにおける学習困難児の傾向 ～STにて学習評価を実施した小学1年生から3年生を通して～	
当センター研究責任者	リハビリテーション課 鈴木恵子	
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	該当なし	
研究の目的	本研究は、当センターのSTにて学習評価(読み書き能力、読み書きを支える言語能力や視覚関連機能等の評価)を実施した小学1年生から小学3年生の児の、主訴や診断名、併存症の有無、幼児期からの発達の様子、言語発達や認知特性から傾向を調査し、今後の学習困難児の評価・支援において早期発見し適切な時期に支援を行えるようにつなげて行くために行うものです。	
研究の実施期間	令和3年11月11日～令和4年4月30日	
研究対象となる方	平成31年4月から令和3年10月までに当センターの言語聴覚療法で学習評価を実施した患者様。	
収集・ 利用する 試料・ 情報	対象とする 試料・情報	学習評価の処方日、評価実施時の年齢、性別、生年月日、診断名、併存症の有無、受診理由、当センター診療科の初診日、初診時の問診表から読み取れる幼児期の様子、学習評価実施以前の言語聴覚療法の有無、学校生活における支援の有無、学習の困り感に関する主訴、検査結果 [WISC-IV：全検査IQ(FIQ)、言語理解指標(VCI)、知覚推理指標(PRI)、ワーキングメモリ指標(WMI)、処理速度指標(PSI)、改訂版標準読み書きスクリーニング検査(STRAW-R)：速読の所要時間の標準偏差、読み書きの正確性の標準偏差、LCSA(学齢版言語・コミュニケーション・発達スケール)：LCSA指数、リテラシー指数、下位検査項目の評価点(語彙知識、慣用句・心的表現、文表現、音韻意識)]
	利用目的	当センターの学習困難児の傾向を知ること、今後の言語聴覚療法場面において、早期発見し適切な時期からの支援に役立てるため
	対象試料・情報 の該当期間	当該患者に係る初診時から令和3年10月までの情報。

	管理責任者	リハビリテーション課 鈴木恵子
	個人情報の取扱い	利用する個人情報から、患者・利用者さまを直接特定できる個人情報は削除します。また、学会等で研究成果の発表を予定していますが、その際も患者・利用者さまを特定できる個人情報は使用しません。
	研究での利益相反	本研究に関連した利益相反関係にある企業等はありません。
	問い合わせ先	担当者：リハビリテーション課 言語聴覚士 鈴木恵子 電話番号：058-233-7277 E-mail：suzuki-keiko@pref.gifu.lg.jp
	備考	